

特定非営利活動法人 地域福祉を考える会

# ニュースレター

発行：NPO法人「地域福祉を考える会」  
発行人：理事長 志村 忠臣  
事務局：〒259-1142  
伊勢原市田中 300 番地の 1-202  
Tel・Fax 0463-95-6665  
メール rtbyw740@ybb.ne.jp

## 友愛電話 10 年を顧み ～ひとりぼっちによりそって～ 友愛部会代表 上枝 きよ



私とこの友愛電話活動との関わりは、平成 13 年に地域福祉を考える会に入会し、沖縄へ研修旅行に参加したことがきっかけでした。沖縄県読谷村の社会福祉協議会の方の話を聞き高齢者に対する活動がボランティアによりきめ細かく実施されている事を伺いました。当時、会の理事長のビジョンで伊勢原市の高齢者に対する思いが語られました。(その頃の当市の 1 人暮らし老人は約 300 名余りでした。)

この会の先輩として活動されていた方々の熱い思いもあり、大阪府でのサービスの現地・聴取を行い伊勢原市でも何か出来ないかと考え、社会福祉協議会と当会が話し合い互いに協力、共催事業として実施することが具体化され、社協の相談室の使用と、電話機 2 台を用意してくださり実施のはこびとなりました。

対象者の把握は身体障害者協会のお力添えにより会員の方への周知、案内をして頂き、利用者の把握ができました。早速手紙を出し約 10 数名の申込がありました。最初のボランティアの育成、研修を 11/17 に川廷宗之氏を講師にお願いし 2 日間コースで始まりました。受講者も約 20 名でした。ガイドブックに基づき友愛電話の趣旨、電話であるがゆえの特徴、ボランティアとしての基本を学びました。11/26 友愛電話の開始日、初めはお互いドキドキしながら利用者の方に電話しました。現在週 3 回月曜日午前・午後と木曜日午後活動しています。お互いに信頼関係を持つよう



になるまではボランティアも苦労しました。又、研修会では話し方専門の方、又は精神疾患や高齢者の特徴、心と身体について等学習しました。これまで初級の講習会を 18 回開催、現在ボランティア 32 名(コーディネーター 6 名)が活動しております。

試行錯誤しながらの活動でしたが、多くのボランティアの方の協力や社会福祉協議会、福祉関係者の方の支援を戴ながら継続し、10 年を迎えることが出来ました。

利用者の方も徐々に増え、現在 27 名の方に電話をしています。加齢により入院、入所、お亡くなりとなり、少しずつ変動はありますが、10 年続けている方もおります。いつも電話を待っていてくださり、こちら元気を貰ったり励まされています。「継続は力なり」と言いますがこれからもずっと続けていけるように「ひとりぼっちによりそって」を絆に皆様のご協力をこれからもよろしくお願ひします。



### 23 年度 総会のお知らせ

日付 平成 23 年 6 月 11 日(土)  
時間 午前 10:30～  
場所 シティプラザ 3 階研修室  
※ 出欠席の連絡は 6/3 までに同封の返信ハガキにてお願ひします。

### 平成 23 年度会費徴収について

運営会員 年会費 3,000 円  
普通会員 年会費 1 口 1,200 円  
出来れば 2 口以上お願ひします。  
賛助会員 年会費 1 口 5,000 円

振込 横浜銀行伊勢原支店 普通 1548781 地域福祉を考える会

※平成 23 年度の会費は総会当日お持ち頂くか、銀行振込又は各部会におさめて下さい。

# 児童コミュニティクラブ

五月晴れの中、4児コミの室内には手作り鯉のぼりが元気に泳いでいます。4月に仲間入りした児童もコミでの過ごし方にもだいぶ慣れてきているようです。6月のはじめには小学校の運動会もあります。気候の不順な時ですので健康に注意して元気に過ごしましょう

『早寝・早起き・朝ごはん』



## 伊勢原第1コミ



校庭の大きな桜の花の下で今年もお花見おやつが出来ました♪

## 伊勢原第2コミ



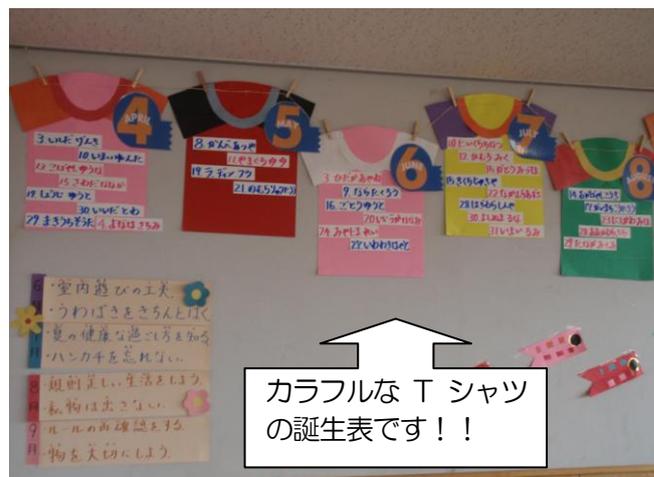
比々多第1コミ



比々多第2コミ



今日の本読み何を選ぼうかな・・・



カラフルなTシャツの誕生表です！！

手作りパンのおやつ

今日のパンは何かな？楽しみです♪

保護者アンケートの回答の中にも要望のあったおやつ改善の一つとして、市内高森のパルテノンさんと、伊勢原駅前の亀盛堂さんにおやつのパンのお願いができ、5月の連休明けより火・金曜日に配達をして頂ける事になりました♪子ども達にも好評です。



パルテノン 広島さん

亀盛堂 添田さん



な  
絆(きずな)を 纏う

成年後見部会員 佐藤 哲

～ 成年後見部会の課題 ～

無縁社会

今回、事務局からのお題は『無縁社会と成年後見』でした。身元不明の孤独死や、百歳以上の高齢者の生死不明問題が社会的な注目を浴びた後だから、縁の薄い人達と絆を結んでいく活動には甲斐がありましょ。

金の切れ目・・・。

今回は成年後見部会が直面する課題をひとつお伝えします。それは報酬のことです。弁護士・司法書士等の成年後見を生業の一部とする専門家と別に、費用のかからないボランティアの活動をする為に、そもそもこの部会はスタートしています。ところが、報酬を決定する裁判所は他の後見人とのバランスを考え、報酬に大きな差はつけられないと判断しています。なんとも皮肉な結果です。

だからこそ絆から可能性を！！

2/15～3/8まで、4回に亘ってかながわ成年後見推進センター主催『法人後見担当者育成研修会』が県社会福祉会館を会場に実施され、私達も参加いたしました。中身の濃い研修ができました。その中で、成年後見制度については全国で色々な試行がされていることと市や市社協が要となった”連携”が進んでいる事、また市民後見人育成の必要性が大きな手テーマとなっている事が私達の課題に対する手懸りになりそうです。(最終日の『地域でつくる成年後見のしくみ』というシンポジウムには、シンポジストとして伊勢原社協の方が参加されていました。)

これからも様々な絆を縋い交せて、被後見人の方々のエンパワーメントに力を注ぎたいと思います。

※ 無縁社会：単身世帯が増え、人と人の関係が希薄となりつつある日本の社会の一面を言い表したものの。NHKにより2010年に制作・放送されたテレビ番組による造語。



\*\*\* 各部会の活動状況 (3月～4月) \*\*\*

【友愛電話活動】毎週月曜(午前・午後)木曜(午後)

✚ 3月実施日数(月：3日間/木：4日間)

✚ 4月実施日数(月：4日間/木：4日間)

☆ 3/28 コーディネーター会議

(23年度活動計画について話し合う)

初級講習会 6/30(木)・10/31(月)

ボランティアの集い 9/22(木)

【子育てひろば“きらきら”活動】

例年3・4月は入園・入学でひろばの利用が減ります。成長と共に少しずつ大きな集団の中で過ごすようになってたくさんの体験をして行くお子さんと一緒にママの活動の場も広がります。共に育ち合う事を楽しめるようにしたいですね。

☆ひろばの遊具に新しい絵本と紙芝居が増えました♪

【成年後見受託事業】

✚ 定例会：3/15,4/19

✚ 家族会：3/26,4/23参加

✚ 作業日：4/26

✚ 3/1 成年後見研修会(県社協主催、於横浜)

✚ 3/8(研修会および反省会)

【児童コミュニティクラブ事業】

✚ 3/18 市代表者会議

✚ 3/19 代表者会議

✚ 4/4 伊勢原小学校校長先生と話し合い

✚ 4/18 比々多小学校校長先生と話し合い



編集後記

もうすぐ憂鬱なジメジメ梅雨がやってきますね。換気(換気口・換気扇で)と食事に気をつけて体調を管理し、上手に乗り切りたいですね♪

「五月雨は腹まで腐る」と言うことわざもあります。食中毒にもご注意を♪ 事務 秋山

